

<p>【作品名】 なかよしすごろく</p>	<p>【学校名】 日上市立水木小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動・国語・その他</p>	<p>【制作者名】 大矢 浩一</p>
<p>【制作の意図】 自分から話すことが苦手な児童でも、ゲーム感覚で楽しみながら活動する中で、友達とのコミュニケーションが図られ、会話をすることができるようになる。</p>	<p>【使用の方法】 2～6名程度で行い、普通のすごろくと同じルールで進める。 「質問カード」が置いてあるマスに止まったら、指示された内容を話したり聞いた人が質問したりする。</p>
<p>【制作上の工夫】 質問は、1～6年生までが簡単に答えられる身近な内容にし、移動を可能にした。 何の質問も無い、安心できるマスを作る。 どこへでも持ち運べて、すぐに活用できる。</p>	<p>【見取り図】 模造紙1枚の大きさ ← 79 cm → ↑ 109 cm ↓</p>
<p>【写真】</p> <p>【すごろく盤】</p>	<p>【質問カード】</p> <p>【こま】</p> <p>【参加賞】</p> <p>【材料・材質・部品等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごろく盤（模造紙） ・質問カード（好きな色や食べ物など） ・名前こま（折り紙） ・参加賞のメダル（折り紙） ・さいころ <p>【使用効果と応用発展】</p> <p>小集団の中で活用することができる。 児童の実態や発達段階に合わせて、質問内容や場所を自由に変更することができる。 順番を決めたりルールを守ったりする生活習慣の定着を図ることができる。 相手の好きな物や理由を知り、自分と比較して質問をすることで、お互いのことを理解することができる。</p>